

所 報

題字：武田満之校長（平成9年、野幌中学校）

第168号 令和4年5月31日

江別市教育研究所所報

江別市高砂町 24-6 TEL381-1058

（主な内容）

- ・ 第1回小学校外国語教育指導連絡協議会開催について
- ・ 令和4年度江別市教育研究所事業計画

第1回小学校外国語教育指導連絡協議会を開催

5月23日（月）に、今年度第1回目の小学校外国語教育指導連絡協議会が開催されました。教育研究所所長の伊藤忠信教育部長の挨拶に続き、今年度の組織体制が確認されましたが、会長にいずみ野小学校の早川久夫校長、副会長に豊幌小学校鎌田康弘教頭が選任されました。

協議会では、市内での外国語教育を進めていく上で、生じてくる課題を協議会メンバーで対応していくこと、今年度の事業計画についての確認が行われました。特に、事業計画で新たに目玉として取り組まれるのが、サイボウズの共有ホルダーを利用した学習資料の共有（ワークシート、指導案等の集約）で、指導内容の情報交流による格差の解消や準備の軽減化を目指す取組となります。また、ワークシートの有効活用は学習の記録化（自己評価、学習の見取り）や、書き方指導の共有につながっていくことも期待され、課題となっている統一的な評価へのステップともなっていきそうです。今年一年をかけて、取組の基盤を作っていきたいと考えていますので、各校からの協力をお願いいたします。

更に、協議会の後半では、事前に集約したアンケート課題「①江別市内の教育課題（評価の工夫、小中連携、授業での交流方法）、②指導において抱えている不安、③指導連絡協議会で情報交流したいこと」について交流が持たれました。（下記内容：事前調査で上げられた主な意見）

1. 江別市内における外国語指導での課題について

1) 評価の工夫について

- ①振り返りシート等による自己評価の導入。（学習場面の見取り）…大麻小、対雁小
- ②単元末テストの導入（知識、技能の見取り）…北光小
- ③ワークシートや学習場面で見取りによる評価（思考・判断・表現力の見取り）…北光小
- ④評価体制について（評価項目の統一、観点の共有）…文京台

2) 小中連携に関する工夫

- ①小中学校間での交流授業の実施…東野幌小、大麻東小、中央小、中央中
- ②連携担当者会議、ブロック交流での連携ヶ所の確認や情報共有…大麻西小、野幌若葉小
- ③カリキュラムの連携…第二小

3) 授業での交流方法の工夫

- ①児童用パソコンを使った非接触型発表交流の取り入れ…第二小
- ②パーテーション、フェイスシールドを使った非接触型交流の実施…北光小、文京台小
- ③感染状況に合わせた交流方法の選択（ペア、グループ等）…野幌若葉、大麻東小

2 指導上で不安になっていること、気になっていること

- ①評価方法について…第二小
- ②ALTの役割についての考え方…第二小
- ③発音学習や交流学习を取り入れる目安や程度について…大麻小、野幌若葉
- ③小中高が連携するために、交流できる部会設定や活動計画の見通しについて…大麻泉小
- ④ALTのサポート時数の増加希望…豊幌小、中央小

3 指導連絡協議会で情報共有したいこと

- ①市内統一での業者テストの購入について…野幌小、
- ②各校における指導体制について…第二小、江別太、対雁、
- ③教科横断型で外国語活動を取り入れている活動があるのか情報交換したい。…大麻西、
- ④評価に数値目標の具体をとりれている学校があるのか情報交換したい。…大麻西
- ⑤教材やワークシート等の情報の市内共有について…大麻西
- ⑥授業中におけるPCの活用について…北光小
- ⑦書く指導をどの程度まで到達させるべきかについて…北光小

令和4年度 江別市教育研究所 事業計画

5月9日(月)に第1回所員会議が開催され令和4年度の江別市教育研究所の事業計画についての内容が協議されました。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、計画していた予定に変更が見られましたが、今年度は影響を受けることなく無事に実施できることを願い、下記のような内容で計画をさせて頂きました。

1. 所員会議

年間6回の会議を行い、教職員の研修事業、調査研究事業などを進めます。

2. 教職員研修「夏期セミナー」

7月25日(月)～28日(木)まで、道立教育研究所をはじめ教育機関等から講師を派遣していただき、3日間6講座を開催いたします。

3. 調査研究報告書№38の発行

児童・生徒を中心に学習や生活などに関する意識調査を行い、集計し分析・考察を加えてまとめたものを各学校や教育関係機関に配付します。

今年度は、江別第一小・豊幌小・江別第二小・対雁小・大麻東小・江別第二中・江別第三中・大麻東中の8校にアンケートの協力をお願いします。

4. 小学校外国語教育指導連絡協議会の運営

- (1) 会議開催 年間2回(5月、1月) ※5月の連絡協議会は延期対応
- (2) 研修会 市内中学校英語授業参観・意見交流会
小学校外国語活動授業参観・意見交換会 } 11月～12月の間に企画
- (3) 指導計画編集委員会 小学校外国語教育に関しての残された課題について検討する。

5. 江別市体力向上事業

(1) 走り方教室 小学生に正しい走り方や練習の仕方などを身に付けさせるために、北翔大学の協力を得て実施します。

(2) 「スポーツトライ教室(通称:スポトラ)」普及出前授業

運動に楽しく取組ながら、各学校の運動課題点の解消を目的とした北翔大学の「スポーツトライ教室」の出前授業します。輪番制による実施で、アンケート調査と合わせながら、今年度は大麻小学校、大麻西小学校、第二小学校、野幌若葉小学校の4校で実施します。

6. 所報の発行

教育長の挨拶、研究所事業計画・報告、小学校外国語教育の推進と報告、体力向上の推進と報告、夏期セミナーの案内と報告、道研連研究大会の報告などの内容で、年間7回程度発行し情報提供します。



コロナの影響で3年ぶりに撮影できた教育研究所所員一同の写真

令和4年度 江別市教育研究所体制

所 長	伊藤 忠信	教育部長
副所長	中島 桂一	学校教育支援室長
副所長	内海 洋	大麻西小学校長
所 員	砂原 史朗	対雁小学校教頭
所 員	田中 涼平	大麻泉小学校教諭
所 員	阿部 郁	北光小学校教諭
所 員	加藤 剛	江別第二中学校教諭
所 員	川除 照之	大麻東中学校教諭
事務局長	高橋 秀明	教育研究所
事務局次長	原田 拓鷹	学校教育係主任